



予行練習を実施しました！（皿倉小学校参観）

10月19日(水)秋晴れの中、第76回体育大会の予行練習を行いました。開閉会式をはじめ、すべての種目について入退場や競技内容を確認しながら練習しました。大縄跳び、ダンスについては本番通りに実施しました。生徒一人ひとりが自覚をもち、主体的に取り組んでくれたこともあり、スムーズに進めることができました。予行練習とはいえ、全学年真剣に取り組み、22日の本番が楽しみになってきた今日の練習でした。

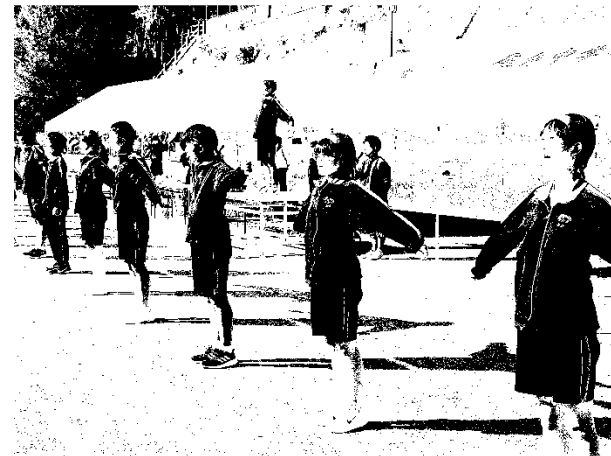
中学校における体育大会は文化学習発表会と共に学校における大きな行事です。本校では、昨年までの2年間規模を縮小して実施しましたが、今年ではできるだけ今までの形に戻しています。体育大会を通じて、生徒が一層クラスや学年の絆を強めると共に、一人一人が大きな感動を味わい、素晴らしい思い出を作ってほしいと思います。

土曜日は大きな天候の崩れもなく、予報ではよい天気にも恵まれそうです。土曜日開催ですので、保護者の皆様には是非ご来場の上、たくましく成長したお子様(特に1年生)の姿を見てあげてください。

また、今日の予行練習では皿倉小学校の児童のみなさんが来校し、練習を見学しました。特に、6年生は中学校の体育大会を見てびっくりしたのではないのでしょうか。規律、気合い、秩序、思いやりが詰まった尾倉中の先輩の姿はどのように映ったのでしょうか。来年度は6年生のみなさんも主役です。ぜひ、尾倉中の素晴らしい伝統を引き継いでください。

最後に、尾倉中の全校生徒、皿倉小学校の児童がお互いに「ありがとうございました!」と大きな声でお礼の言葉を伝えました。(最初は、小学生の声の方が大きかったので、中学生も負けじと頑張っって大きな声であいさつをしました)このような交流は、小学生、中学生ともに大きな意味があると考えます。中学生へのスムーズな連携になればと考えています。森永校長先生、引率していただいた先生方に感謝いたします。ありがとうございました!

皿倉小学校のみなさん、ありがとうございました!



学校教育において、児童生徒が集団となって行動する場合には、それにふさわしい集団行動の様式(方策)が必要です。児童生徒が集団行動の様式に習熟し、集団としての行動を敏速かつ的確に行うことは、集団の安全に役立つものであり、安全に行動することが可能となります。また、集団としての行動が秩序よく、しかも能率的に行われるようにもなります。児童生徒に集団行動の指導を効率よく行っていくために、集団行動の様式は、小中学校を通じて一貫性をもたせることが重要です。児童生徒への集団行動様式の定着を図るためには、保健体育科だけでなく、その他の教科・領域・学校行事等の特性を踏まえて適切に指導することが必要だと考えます。